

リケッチア症レファレンスセンター会議 報告2015

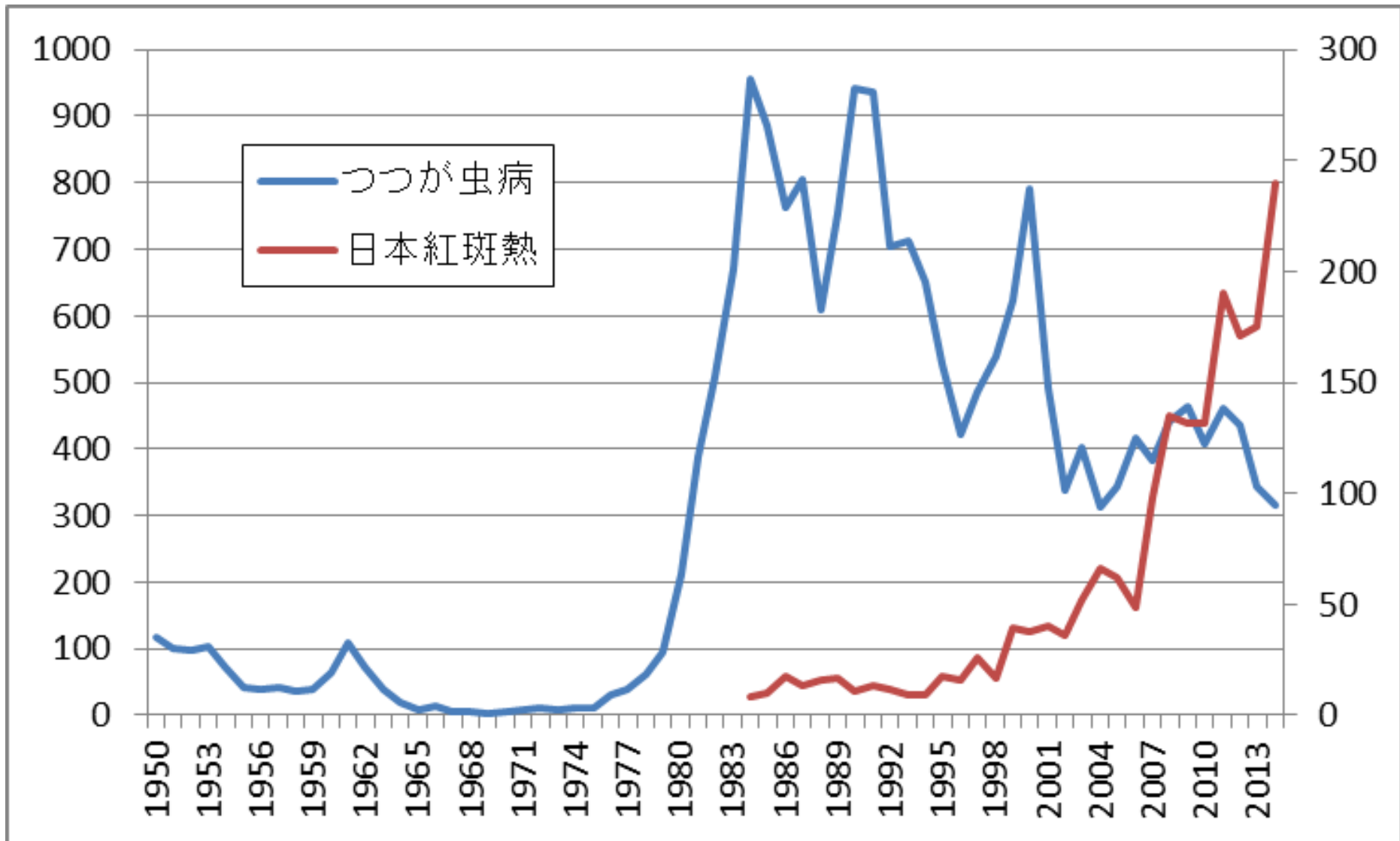
全国衛生微生物技術協議会, 2015年7月24日, 仙台

- 北海道東北地区
福島県衛生研究所
青森県環境保健センター
- 東海北陸
三重県保健環境研究所
富山県衛生研究所
- 関東甲信静
東京都健康安全研究センター
埼玉県衛生研究所
- 近畿ブロック
和歌山県環境衛生研究センター
兵庫県立生活科学研究所健康科学研究センター
- 中国・四国
岡山県環境保健センター
広島県総合科学研究所環境保健センター
高知県衛生研究所
- 九州
宮崎県衛生環境研究所
鹿児島県環境保健センター

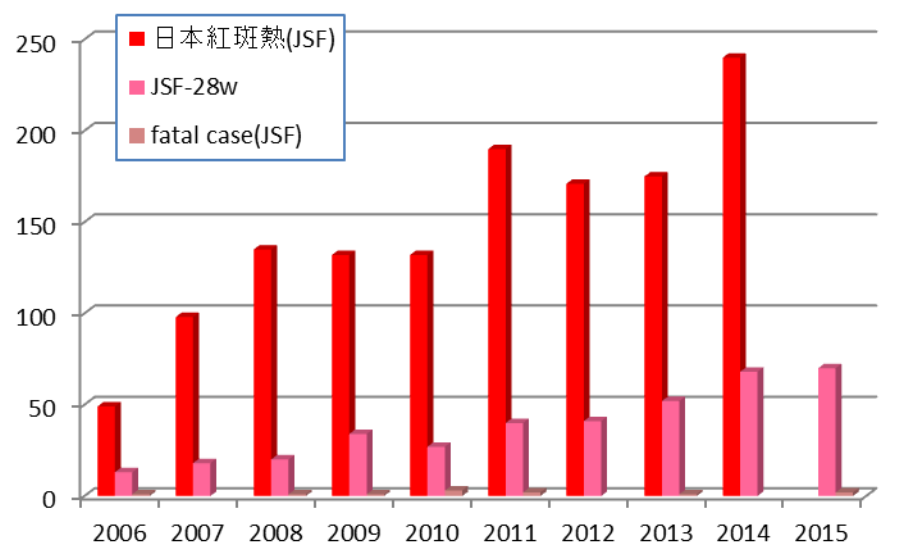
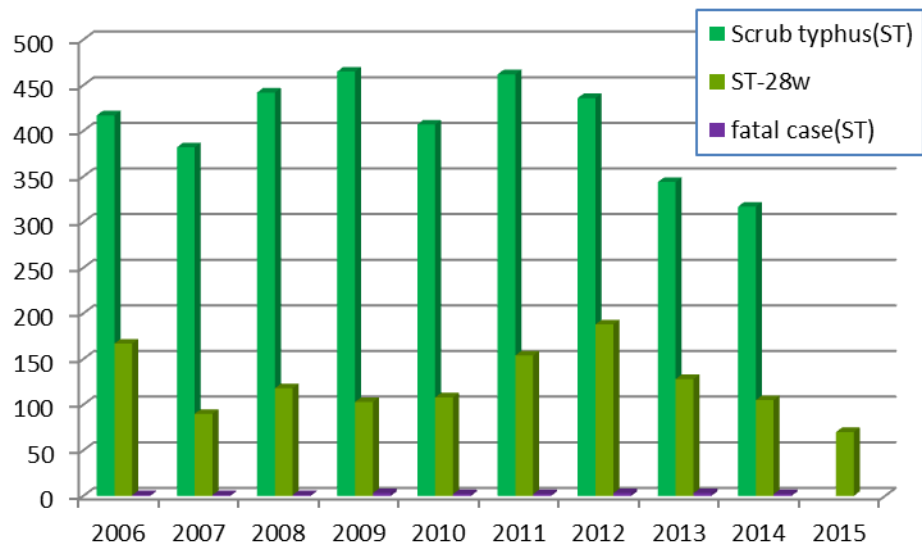
世話人 安藤秀二
国立感染症研究所
ウイルス第一部第五室
shuando@nih.go.jp

- **イントロ（情報共有：発生状況 等）**
- **情報提供（診断系）**
- **活動状況と今後の予定**
- **意見交換**

国内のリケッチア症の推移



国内のリケッチア症の推移(2006-2015)



年	Scrub typhus(ST)	ST-28w	fatal case(ST)	日本紅斑熱(JSF)	JSF-28w	fatal case(JSF)
2006	417	167	1	49	13	1
2007	382	90	1	98	18	1
2008	442	118	1	135	20	1
2009	465	103	3	132	34	1
2010	407	108	2	132	27	3
2011	462	154	2	190	40	2
2012	436	188	3	171	41	1
2013	344	128	3	175	52	1
2014	317	105	2	240	68	2
2015	70	70	2	70	70	2

その他29週1例、未報告1例

日本紅斑熱発生地域の拡大(2014年:新潟県、栃木県)

* 各疾患の年間報告数、28週報告数、死亡数

国内の節足動物媒介(蚊を除く)感染症として鑑別に留意すべき疾患

マダニ媒介

ツツガムシ媒介

ノミ媒介

SFGR

O. tsutsugamushi(つツガ虫病)

R. typhi(発疹熱)

R. japonica(日本紅斑熱)

R. helvetica

R. heilongjiangensis(極東紅斑熱)

R. tamurae

A. phagocytophilum

B. afzerii(ライム病)

B. garinii(ライム病)

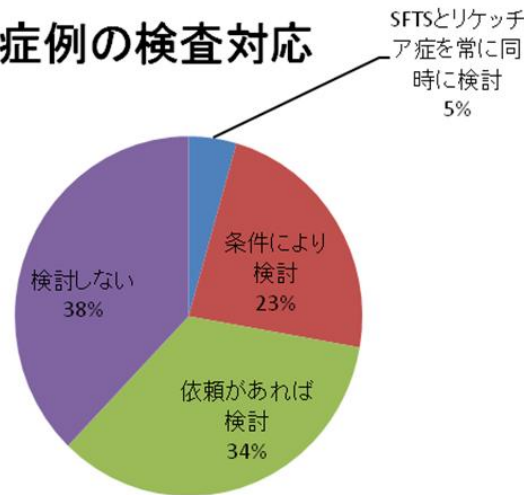
B. miyamotoii(回帰熱)

TBEv(ダニ媒介性脳炎)

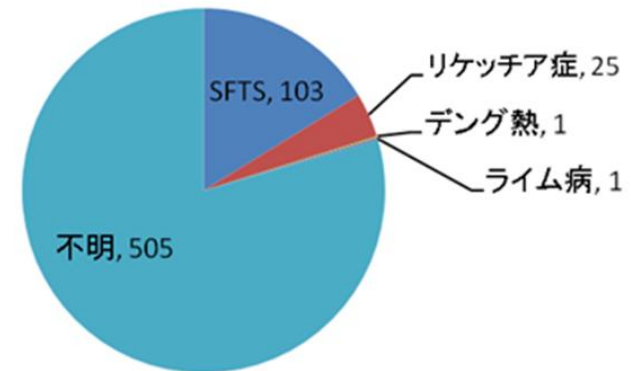
SFTSv(重症熱性血小板減少症候群)

バベシア

SFTS疑い症例の検査対応



検査結果 N=635, 登録SFTS症例103参考



診断系情報

○リケッチア症の遺伝子検査検体

H26年度資料 再掲

紅斑熱群リケッチア(日本紅斑熱):

痂皮(Eschar) > 紅斑部生検 > 急性期血液*

つつが虫病:

痂皮(Eschar) > 紅斑部生検 ≥ 急性期血液*

発疹チフス群リケッチア:

紅斑部生検 = 急性期血液

* 血液は抗菌薬投与前

○Real time PCR for *R. japonica* and *R. heilongjiangensis*

Hanaoka N, Ando S et al. Diagnostic Assay for *Rickettsia japonica*.

Emerg Infect Dis 15:1994-1997, 2009

○multiplex RT-PCR (SFGR & Scrub typhus)

H27度資料

☆One tube nested PCR for Tsutsugamushi Disease
(資料配布)

リケッチア・レファレンスセンター活動状況

目的：リケッチア症の病原体サーベイランスに必要となる疫学情報、リケッチア標準株、分離株の共有等、相互信頼と連携、機能強化を図る。

(役割)

- 標準株、分離株の維持(リスク分散)。
- 診断用抗原並びにPCR陽性コントロールの分担作製と供給。
- 実験室診断技術の相互評価(技術の維持)
- 新規診断法等の相互評価。
- 疫学情報、診断情報の収集・分析と共有。
- 緊急時のバックアップ体制
- 検査マニュアルの作成、改訂
- 検査技術の研修
- その他

本年度の活動目標(検討課題)

- 日本紅斑熱のリアルタイムPCR系の標準化
- つつが虫病のリアルタイムPCR系の評価
- 標準株、分離株の維持(リスク分散)
- ブロック毎の診断協力体制の再構築？
- ブロック内、ブロック間の情報共有
- ダニ媒介感染症の総合的かつ体系的検査対応体制を目指す。
- 検査マニュアルのブラッシュアップ

*レファレンス・センター会議で最終調整

大きな課題

担当者の短期間における異動

- 北海道東北地区
 - 福島県衛生研究所
 - 青森県環境保健センター
- 東海北陸
 - 三重県保健環境研究所
 - 富山県衛生研究所
- 関東甲信静
 - 埼玉県衛生研究所
 - 東京都健康安全研究センター
- 近畿ブロック
 - 和歌山県環境衛生研究センター
 - 兵庫県立生活科学研究所健康科学研究センター
- 中国・四国
 - 岡山県環境保健センター
 - 広島県総合科学研究所環境保健センター
 - 高知県衛生研究所
- 九州
 - 宮崎県衛生環境研究所
 - 鹿児島県環境保健センター